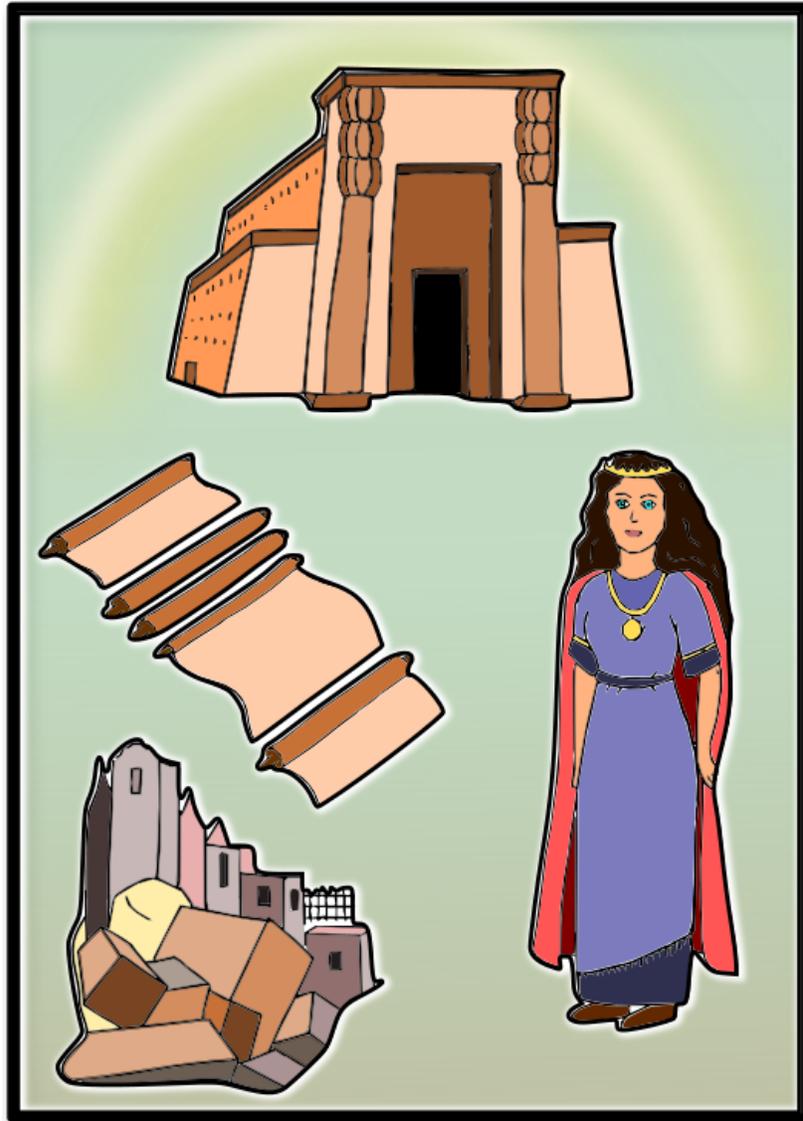


# 約束の地への帰還

神殿、律法、城壁



エズラ記

ネヘミヤ記

エステル記

## 第17課: 約束の地への帰還

神殿、律法、城壁

### 聖書

本	章	著者	年
エズラ記	1 - 7	エズラ	紀元前450年～444年
ネヘミヤ記	1- 13	ネヘミヤ	紀元前445年～425年
エステル記	1 - 9	不明	紀元前465年

### 概要

エズラとネヘミヤは、ユダヤの民が捕囚の地から故郷へ帰還し、神殿と城壁を再建し、再び神に従おうとした様子を伝えています。エステル記は、たとえ神の御名が語られなくとも、勇敢な女王を通して神がご自身の民を守られたことを示しています。

### レジュメ

#### エズラ

- ペルシャの王キュロスが、イスラエル人のエルサレム帰還と神殿再建を許可する勅令を発する - エズ記1:1-4
- ゼルバベル率いる亡命者たちがエルサレムに帰還する - エズ記2:1-70
- 祭壇が再建され、神殿の礎が据えられる - エズ記3:1-13
- 地元の敵対者たちが再建に反対し、工事が中断される - エズ記4:1-24
- ダリウス王のもとで神殿の工事が再開され、完成する - エズ記5:1-6:22
- 書記官であり祭司でもあるエズラがエルサレムに戻り、宗教改革を始める - エズ記7:1-10:44

#### ネヘミヤ

- アルタクセルクセス王の侍酒官ネヘミヤが、エルサレムの城壁再建の許可を得る - ネヘ記1:1-2:20
- 反対にもかかわらず、ネヘミヤが城壁再建を主導する - ネヘ記3:1-6:19
- エズラとネヘミヤに導かれた民が、神との契約を新たに作る - ネヘ記8:1-10:39
- エルサレムの城壁は、喜びに満ちた式典で奉献される - ネヘ記12:27-43
- ネヘミヤは、十分の一献金、安息日、異民族との婚姻に関する追加改革を実施する - ネヘ記13:1-31

#### エステル

- ユダヤ人女性エステルがペルシャの王妃となる - エス記2:1-18
- 高官ハマンがユダヤ人根絶の陰謀を企て、アハシュエロス王から勅令を得る - エス記3:1-15
- モルデカイがエステルを説得し、ユダヤ人のために王に訴えるよう促す - エス記4:1-17
- エステルは勇気をもって王に近づき、王とハマンを宴会に招く - エス記5:1-8
- エステルはハマンの陰謀を暴露し、ハマンは処刑される - エス記7:1-10
- アハシュエロス王はユダヤ人の自衛を認める新たな勅令を発し、ユダヤ人は救われる - エス記8:1-17
- ユダヤ人は自らの救いを祝うため、プーリムの祭りを制定する - エス記9:20-32

### 要点

1. 神は民を回復し、捕囚後の礼拝を新たにされる。これは失敗と裁きの後でさえ、神が約束に忠実であり続けることを示している。
2. エステル王妃の物語は、勇気と従順さが、どんな状況にあっても永続的な影響をもたらさうることを私たちに思い出させる。